

令和7年度第2回千葉県慢性腎臓病(CKD)重症化予防対策部会  
議事要旨(R8.1.8 開催)

1 各団体における取組状況について

- 令和7年度の取組の進捗状況について、各団体から報告があった。
- CKD対策協力医が少ない地域に対しては、県医師会を通して地区医師会へ働きかける等のアプローチを検討していく。また、CKD対策協力医登録時に視聴いただく講義動画の更新についても検討していく。
- 栄養ケア・ステーションを広く周知するため、取組状況調査等の機会を活用し、CKD対策協力医への情報提供を図る。

2 令和7年度糖尿病性腎症重症化予防プログラム取組状況調査結果(速報値)について

- 令和7年度にCKD対策に取り組む市町村数は36と、昨年度(35市町村)から微増している。引き続き、保険者への積極的な働きかけを行っていく。
- CKDでは、eGFR等の変化を経年的に評価することが重要であり、既の実施している市町村の事例について、横展開を図ることを検討していく。

3 地域別の現状分析と取組促進に向けた方策について

- CKD対策の取組をロジックモデルにまとめ、整理した。
- eGFRの平均値は、安房で高く、山武長生夷隅で低い傾向があるが、CKD対策協力医の分布や市町村の取組状況等との関連は見られない。引き続き、多角的な視点からCKDに関連する要因等との関連性を分析し、改善に向けた取組を検討していく。
- CKD対策協力医の取組状況調査(R8.1月実施)の内容について検討した。

4 普及啓発の取組について

- 啓発物の配布状況や県ホームページのアクセス件数について共有した。
- 令和8年3月にJR千葉駅構内でデジタルサイネージ広告を掲出予定であり、広告の内容について検討した。

5 その他

- 千葉県では腎臓病療養指導士が少ないことから、登録を増やすための活動や腎臓病療養指導士のコミュニティ作り等に取り組む必要性が指摘された。